

但馬安国寺ドウダンツツジ

安国寺は豊岡市の但東地域にあり、周りに広がる農地や自然の草木に囲まれています。この禅宗の寺院は1345年まで遡る歴史を持っており、日本全国に点在する68ヶ所の安国寺の1つです。この寺は日本の禅宗の3大教派の1つ、臨済宗大徳寺派に属しています。1717年の火事で不幸にも焼失してしまいましたが、その後で移転および再建され、1904年に現在の建物になりました。

安国寺はおそらく本堂の裏にある見事な木々で最も有名です。ドウダンツツジとして知られる樹齢約150~160年の10本の木が集まり、境内に非常に美しい背景を生み出しています。秋の間は見事な紅葉をひと目見ようとやって来る約30,000人の訪問客を迎えます。夜間にライトアップされると特に魅力的な眺めとなります。訪問者は以前に寺があった場所を訪れることもできます。現在は安国寺公園として知られるこの場所では、6月と7月にたくさんのナツツバキの白い花が咲きます。